

令和2年度 岡山市子ども・子育て会議 第1回放課後児童クラブ部会
(議事録/要約)

日時：令和3年3月16日(火) 午後3時34分～午後4時29分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階中会議室

開会

- ・ 部会長挨拶
- ・ 担当局長挨拶
- ・ 成立確認・・・委員7名中7名出席にて過半数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は部会長

(1) 市立クラブへの移行状況について

[事務局から資料1に沿って説明]

【質問、意見なし】

(2) 市立クラブの保護者アンケート結果等について

[事務局から資料2、資料3、「児童クラブの市立化Q&A」に沿って説明]

○委員 夏季休暇中はお弁当持参ということになっていたが、それについての手だてはあるのか。

○事務局 資料2の8ページ、⑩番の項目にお弁当に関するご意見をまとめている。そこには、夏休み等、お昼ご飯が出る日がいくらかあると大変うれしいとか、電子レンジを準備して弁当を温めてほしいとか、クラブでお弁当を週に1回でも発注できると助かるといったご意見がある。それに加えて、朝持って行ってお昼に食べる、その間の保管の方法にも少し課題があるという認識はしている。

○委員 特に夏はとても大変だと思う。

○事務局 昨年度については、コロナの関係もあり、半日の授業で、お弁当を持参し、学校が終わった後にクラブの方に児童が来る日数がいつもより多かった。そこは学校と教育委員会と岡山っ子育成局で調整し、お弁当の預かりの協力をいただいたり、クラブにもお願いし、午前中から登校時に弁当を預かって冷暗所で保管していただくという対応をさせていただいた。

○委員 クラブの事情も考慮して、いろいろ考えていただければありがたい。

○事務局 問題意識は持っている。

○部会長 他に何か。

○委員 アンケート結果についてだが、保護者が一番関心が高いのは支援員に関する事、安全に関する事と支援員の接し方ということで、今年度、特にコロナ禍で大変だった中で、これだけ肯定的なご回答が多いというのは感心しているところであるが、今どの職場も人手不足で、人材確保に苦労している。その中で、これはいい人材が集まっているというアンケート結果になると思うが、その状況を教えていただきたい。

○事務局 市立クラブの支援員の状況であるが、令和2年4月1日から令和3年2月28日までの期間ということで、採用状況を説明したい。

正規の職員は3名採用できており、1月1日から2名配置し、もう1名は来年度当初に配置予定である。パート職員については35名採用できており、支援員が16名と補助員が19名という内訳になっている。

順次職員を必要とするクラブに配置し、現場が円滑に運営できるように努めているところである。

さらに、2月6日に山陽新聞の折り込み広告に求人募集のチラシを入れ、開催の告知を行い、2月8日に市役所1階で就職相談会を実施したところ、例年の倍以上の来場者があり、実際に6名の採用につながったという状況もある。そういった取り組

みをしながら、必要な人員確保に努めているのが現状である。

- 委員 どこも欠員で困っている状態ではないということか。
- 事務局 そう。例えば多少欠員が生じたときに、少し余力があるところから人をヘルプで回したりするというのも市立化のメリットである。今まではそれぞれが独立しており、なかなかできなかったが、市立になると横の連携でヘルプ等の対応が可能ではある。
- 委員 学校の支援員と兼ねることはできるのか。
- 事務局 正規職員は現状難しいが、パート職員は可能。同じ子どもを午前中は学校で、午後はクラブでみるというのは理想的ではあるが、勤務時間が重なるということも聞いており、何かいい知恵があれば教えていただきたいとは思っている。
- 部会長 任命権者などが違うという話。
他には何か。
- 委員 去年と一昨年を見ていて、ハード面、ソフト面がかなり充実してきているのではないかと思うが、ホームページを見ていて、43クラブのうち29クラブが定員いっぱいという形になっている。待機児童の割合はどうなっているのか。
- 事務局 待機児童の関係について、昨年11月に令和3年度の入所募集を行い、今年1月27日に入所の決定をさせていただいた。
全体を申し上げますと、申請者数は3,302名、入所決定は3,174名となった。待機児童については7クラブで108名となっている。ただし、児童の安全等を確保した上で、各クラブと調整を行い、9クラブで51名の定員を超えての受け入れをしていただいている。3年生までの低学年の児童は全て入所決定ができており、108名は4年生以上の児童となっている。
今後、入所決定以降、辞退や申請取下げ等により、定員を割るようなことがあれば、随時、入所の案内を108名の方に対して行っていく。

- 委員 発達障害の対応について、同じ部屋で発達障害の方も含めて一緒に保育していると思うが、今後専門家の人数を増やしてほしいというニーズもあるようだが、どう考えているか。
- 事務局 専門家の配置の具体的な計画はまだないが、クラブの支援員等においては、発達障害の児童への対応について、公社と岡山市で専門研修を行い、受講していただいている。それに加えて、主任支援員会議を2か月に1回程度開催し、それぞれのクラブでの課題を持ち寄って、グループで検討したり、事例研究したりしている。そういった中で発達障害の児童への対応についても共有し、活かしていると聞いている。
- また、公社には作業療法士の専門職がいるが、児童クラブでもそういった専門職のスキルが活用できないかというのは検討している。
- 委員 デイサービスみたいな形が各所にあるので、そういうところと連携していただければいいのでは。
- 事務局 今おっしゃられたような事業者との連携というところまでは、まだできていないが、児童クラブの場合は、従前から岡山市が主催する行政研修、児童クラブ向けの研修を大体年に12回、月でいうと大体1回ぐらいのペースで、様々なテーマでやっている。その中で発達障害の児童への対応を含む、発達障害関係の研修を大体年に3回、4回ぐらい実施している。特に昨年度からは学校法人旭川荘に委託し、作業療法士の方を含む様々な分野の専門家で研修の講師陣を編成していただき、昨年度から実施している。
- 今年度はコロナの関係で、集合した形の研修はなかなかできなかったが、ユーチューブを活用したりリモートでの研修などに切り替えて対応しているというのが市の取組み。
- 部会長 他には何か。

- 委員 平成27年に3年生までの預かりが6年生までの預かりになった。定員の出し方だが、児童1人あたり1.65㎡で計算するようにしている。3年生までの預かりのときも、6年生までの預かりになっても、それは変わらない。これはおかしいのではという話になったが、どうにもならないということがあった。しかし、コロナ禍の時期になっても、そこには触れていない。原点に戻って、そういう見方をしていただかないといけない部分があると思う。1.65㎡は守りなさい、だけど密になったらいけませんというのは矛盾している。そういうところから間違いがないような形で進めていただければと思う。
- 部会長 他には何か。
- 委員 こんなにもたくさんの方が子どもたちのことを一生懸命考えていただいていることに感謝している。

(3) 個別施設計画（放課後児童クラブ）について

[事務局から資料4に沿って説明]

- 部会長 各学校の耐用年数を踏まえて、この計画で行くぞという表を作ってくれているということ。
- 委員 施設整備について、工事中は居場所がないため、空き教室等を見つけて、そちらへ移動ができるようになって初めて工事できると考えればよいのか。
- 事務局 児童クラブの専用施設を建て替えようとしたときに、同じ場所に建て替えるのであれば、当然その間、新しい施設が建つまでの間、居場所を確保しないとイケない。多いのは、学校へお願いをさせていただいて、例えば図工室のような特別教室のようなところを一時的にお借りして、新しいクラブ室が建て替わるまでの間、暫定的に使わせていただくような形で居場所の確保を行うことが多い。別の場所に建てることになると、新しいところできてから引っ越しということになる。

○委員 基本的に自分たちで探せというのではなく、市が探していただけるという形でよいか。空き教室がベストだと思うが、それ以外でも市の方で探していただけると考えたらよいか。

○事務局 はい。

○委員 その段取りが済めば、出来上がり次第、順を追って工事に入るといふことでよいか。

○部会長 これは計画であり、施設等の耐用年数を踏まえて、法律でもあるだろうから、国の予算、いろんなことを考えながら対応をお願いしたい。

以上で部会を終わる。

閉会